ぶらり諏訪塾 ⑬ 参勤交代この地から行軍

上原八幡神社

茅野市上原の国道20号は江戸時代の甲州街道であり、茅野駅方面へ続きます。その国道と茅野駅方面への分岐近くに上原八幡神社があり、国道に面した参道入口に控柱を持つ鳥居があります。「両部鳥居」という型式で規模は違いますが、諏訪大社上社の波除鳥居と似ています。

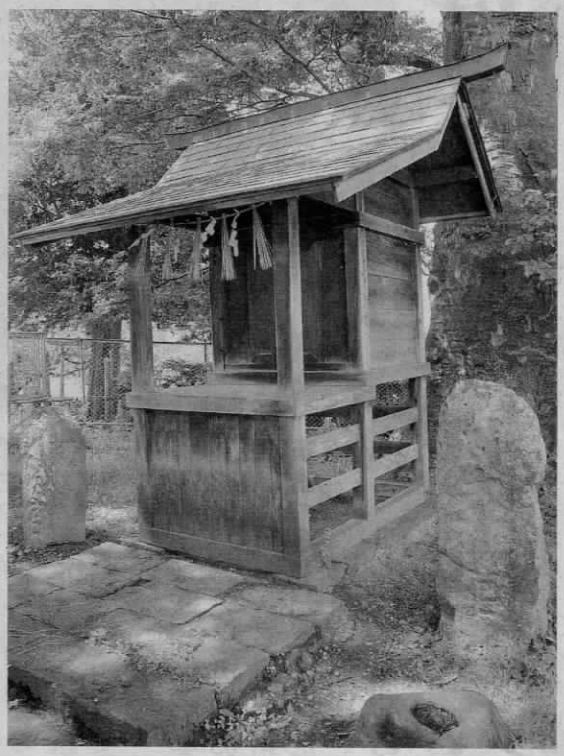
この神社は鎌倉時代、上社大祝・諏訪盛重により鎌倉の鶴ケ岡八幡宮を勧請し、かつては「八幡宮」と記されました。江戸時代は参勤交代で高島藩主の御参府や御帰藩に御駕籠と馬を乗り換えた場所であり、この地から先は行軍隊形で戦時の体制を整え、江戸へ向かうその境界が上原八幡神社だったのです。

八幡神社境内には麻上下着用の御近習と共に上社大祝、五官、社人たちが揃い、街道には羽織袴の家臣たちが居並びました。大名行列の人数は推定200～300人いたと思われます。高島藩主は八幡神社境内に「御駕籠を置き舞台でしばし御休息」の記録が残っています。現在の神社に当時の面影は残っていませんが、今も拝殿前に御駕籠を置いた「駕籠置石」とされる場所があり、枡形（長方形）の枠に石が並ぶ簡素で不思議な場所です。

2年に1度の参勤交代は居並ぶ家臣や村役などに藩主の威厳を示す絶好の場であったはずですし、「駕籠置石」置石ですから大きく立派な石の上に御駕籠は置かれたのではないかと思うのです。

＝随時掲載

詳しい場所などの問い合わせは諏訪塾事務局（電話070・8323・2107）へ。



上原八幡神社の本殿。ご神木の前に建つ

ぶらり諏訪塾の冊子は
・諏訪市観光案内所（JR上諏訪駅内）
・れすとらん割烹いずみ屋（諏訪市諏訪）
・書店「言事堂」（諏訪市末広）
・すわ大昔情報センター（諏訪市博物館内）
・諏訪書店（通販のみ 57・0997）
・柏屋カフェ&ギャラリー（諏訪市中洲神宮寺）
で販売中です。

今回の筆者

涌井みち子さん

立川流建築彫刻研究者でスポーツインストラクターとしても活動しています